

第3回 伊東市津波対策新井地区協議会議事録

場 所：新井区民会館

日 時：平成 28 年 6 月 23 日（木）19:00～

出席者：地元役員・関係団体 36 名、県関係者 10 名、市関係者 4 名

1. 挨拶

挨拶



2. 熱海土木事務所から説明

- ・今まで地区協議会の振り返り
- ・配付資料についての説明



3. 伊東市から説明

- ・ 災害に対する取り組みの説明
- ・ 避難計画の策定についての説明



4. 話し合い（ワークショップ）

- ・資料 1 により、第 2 回地区協議会において出された、地震・津波発生時に想定される課題と対応策を確認します。その際、ハード対策の方針（護岸整備はしない）も確認します。
- ・資料 1 を見ながら、地元としての意見をまとめていくため、資料 2 を使い、数グループに分かれて意見を出し合ってください。
- ・グループワークの内容は、
 - ① ハード対策（護岸整備）の方針の確認
 - ② 対応策の抽出（他地区の対応策の活用や新規アイデアも）
 - ③ 対応策の具体化（具体的な避難ルートの特典など）
 - ④ 優先順位（短期的対策（2～3 年）、中期的対策（10 年以内）、長期的対策）づけです。



5. 意見発表

1 グループ

東町の中で出たことを発表します。東町は、仲町や西町みたいに高くなく、横に長いということで、みなさんの敷地が約4mから5mの所にある。それと、上から山が崩れてくる。このために、第1次避難場所というのを7つ設けてある。1番奥で行きますと、高田さんの上に避難、これは、避難路の標識がある。

ここに、1丁目2組ってというのがあって、この2組が、この綿津見神社から先の所が2組になる。そういうように組毎にいくつかに分かれて、7つの避難所になっている。その避難経路が1番悪い。今日、大雨が降ったが、2丁目1組、1丁目2組の避難路がここから上がった所にあるがここに行く道路が陥没して使えない。この道路を、市を中心に整備することになっているが、陥没してしまったというような状況である。

そのため、東町としては避難路をもう1度確認した上で、道路を直したり、手すりを付けてもらったり、高齢者も65歳以上は全体の61%になってる。そういう状況なので、その避難路の山に上がる所に手すりを付ける。道路の整備をしてもらう。で、上に標識でここが1組・2組の避難場所だという風な標識を付けたらどうかという意見が出た。問題なのが、市有地ではなく私道と赤線なので直す所がない。道路の周辺も色々な事の中で、周りの家の状況を確認しなければいけないので、なかなか困難だと思うが、そこを何とか上手くやって欲しい。

先程もこちらで話したが、あと15年すると人が居ない状況になると思うのでそうなったときに空いた所に、道を整備して造るというような状況が生まれるのではないかな。

あと、避難タワーの問題が挙げられた。駐車場の所に区有地があり、ここに、避難タワーを、そういうシミュレーションでできるのかできないのか、そういうような検討も今後して欲しいといった意見や、ここの、上の道って言うところに空き地があるのでその土地の所有者が了承してくれれば、そこに避難タワーができるのか、シミュレーションもして欲しいと思う。

あと、実際には、東町は本然寺というお寺があり、そこが第2次避難場所になっているので、そこに行く経路、この山を越えて行く、5分位で行くにはこちらの横を通って行くが、その辺の整備をして欲しいという話し合いをした。

一応、防潮堤があるが、防潮堤についてはかなり反対の人がいるが、これから生まれてくる人はこういうのが建っていても、不自然ではないというような意見もあった。その辺については、また今後、防潮堤がどうなっていくのかってということで、これも10年位かからないとできないという状況があると思うが、そういう意見もでた。



2 グループ

2 班の西町は、津波を避けるのではなく、避難ということで、避難地を策定している。まず、現状では、避難場所としては本然寺さんの駐車場。これが今、避難所として使われてる場所である。ただ、上の方の人、山側の人には申し訳ないが、特に下側で、お宅を構えてたり、仕事場があったりという方にとっては本然寺だけでは全部の方々を収容することが出来ないの、もう1ヶ所の場所として、今、廃園になっている新井幼稚園ということで、この2つの場所を避難場所として策定した。それに伴って、本然寺の方は大体、避難経路は、現状で宜しいかという風に見ているが、新井幼稚園については最短距離で行ける道等もあるが、まだそこが未整備であったりということでその整備を進めて欲しいのと、本然寺側から新井幼稚園に行く道も整備してもらいたい。この2ヶ所を、整備してもらいたいということで、避難場所にこの2ヶ所を策定した。

あと、避難タワーが可能であるならば、本然寺へ行く途中の場所、元斎藤かまぼこ屋の所が、候補として避難タワー、一時的な避難場所としてどうかという意見も出た。



3 グループ

仲町はとにかくこの赤い所の上へ上って、弘誓寺とここからもう少し上へ行った所の、この川と合流してるここに防災倉庫があるので、ここに一時避難をしてもらって、落ち着いたら、幼稚園に行ければ幼稚園へ行くようになると思う。ただ、途中が崖とか、階段とかあるので、その辺はその時の地震の大きさとか、様々な事情で違ってくと思うが、とにかく仲町は上へ逃げてもらいたい。距離的に 200m位行けばある程度の高さのとこまで行けると思うので、そういう風に避難してもらいたい。

